

VOL.2

NEWS LETTER

福岡工業大学
教育開発推進機構

CONTENTS

- 機構長メッセージ……………1
- 教育開発推進機構について…2
- 取組内容……………3
- 2023年度の主な活動……………7



機構長メッセージ

福岡工業大学では、学園全体(大学・短大・高校)のビジョンを明確に示し、設置三校それぞれの改革・改善を促進するために中期経営計画(マスタープラン)を策定しています。第9次マスタープラン(2022~2026年度)では、「学修者本位の教育の高度化」を最重要課題に掲げ、教育改革を推進するための全学マネジメント改革に取り組んでいます。その具体的方策として2023年4月FD¹推進機構を再編して教育開発推進機構を設置し、新たな教育改革・改善活動等を推進しています。

変化し続ける現代社会では大学教育においても教育の在り方に大きな転換が求められています。機構では、教育の質保証、教育能力の開発および向上、教育プログラムの開発およびその支援の取組みを実行し、全学レベルのFD活動の実践をさらに高める体制を整え、本学の教育開発の拠点として改革を進めてまいります。

福岡工業大学教育開発推進機構への、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



教育開発推進機構長

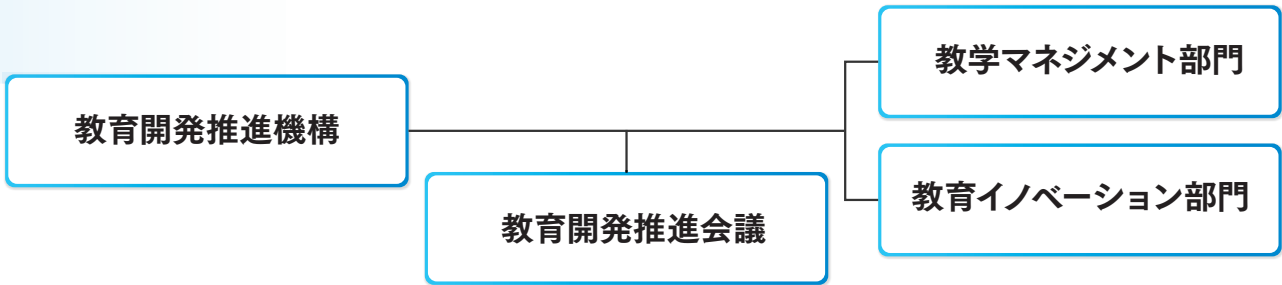
前田 洋



¹ FD(Faculty Development)とは、本学における教育内容及び方法を改善し向上させるための組織的な諸取組です。

教育開発推進機構について

教育開発推進機構では、教育の質保証、教育能力の開発および向上、教育プログラムの開発およびその支援の取組みを実行し、新たな教育改革・改善活動を全学的に推進しています。機構にカリキュラム等の教育の質保証及び質向上を所轄する「**教学マネジメント部門**」と教育改革の方針に係る企画立案及びその実施に関することを所轄する「**教育イノベーション部門**」を設置し、新たな教育改革・改善活動を推進していきます。



各部門の主な取組み

◆ ① 教学マネジメント部門

- i) カリキュラム等の教育の質保証及び質向上に関すること
- ii) 学修成果の可視化および教育・学修に関するデータの収集・分析(教学IR)に関すること
- iii) 教育手法の開発および検証に関すること
- iv) 全学的なFD(Faculty Development)の企画実施及び学部等におけるFD活動の支援に関すること
- v) 教育の改善に取り組んだ教職員に対する評価・顕彰に関すること
- vi) その他、教育の質保証および教育力向上に関すること

◆ ② 教育イノベーション部門

- i) 本学の教育改革の方針に係る企画立案およびその実施に関すること
- ii) 分野・学部等を横断する教育プログラムの開発および支援に関すること
- iii) 大学院教育と学部教育の連携に関すること
- iv) 教育に関する競争的資金獲得に関すること
- v) 教育に関する学内公募型プロジェクト(特別予算)の企画及び審査に関すること
- vi) 他の大学又は社会との教育連携事業に関すること
- vii) その他、教育改革に関すること

取組内容

教育点検

本学では、教育の質保証の仕組みとして2019年度にアセスメント・ポリシーを試行導入し、2年間の試行運用を経て、2021年度からアセスメントプラン(学修成果の評価・改善の方針)として本運用に移行し、教育点検活動を本格化しました。本プランは、本学で定める3つのポリシーが適切であるかどうか、また3つのポリシーに基づき適切に機能しているかの視点から、学生が確実にディプロマ・ポリシーを達成できるようカリキュラムをマネジメントするため、大学、学部学科(カリキュラム)、授業科目、学生のそれぞれのレベルでの学修成果および教育成果を総合的に点検し、その結果を教育・授業改善、ならびに学生自身の成長に繋げていくことを目的としています。

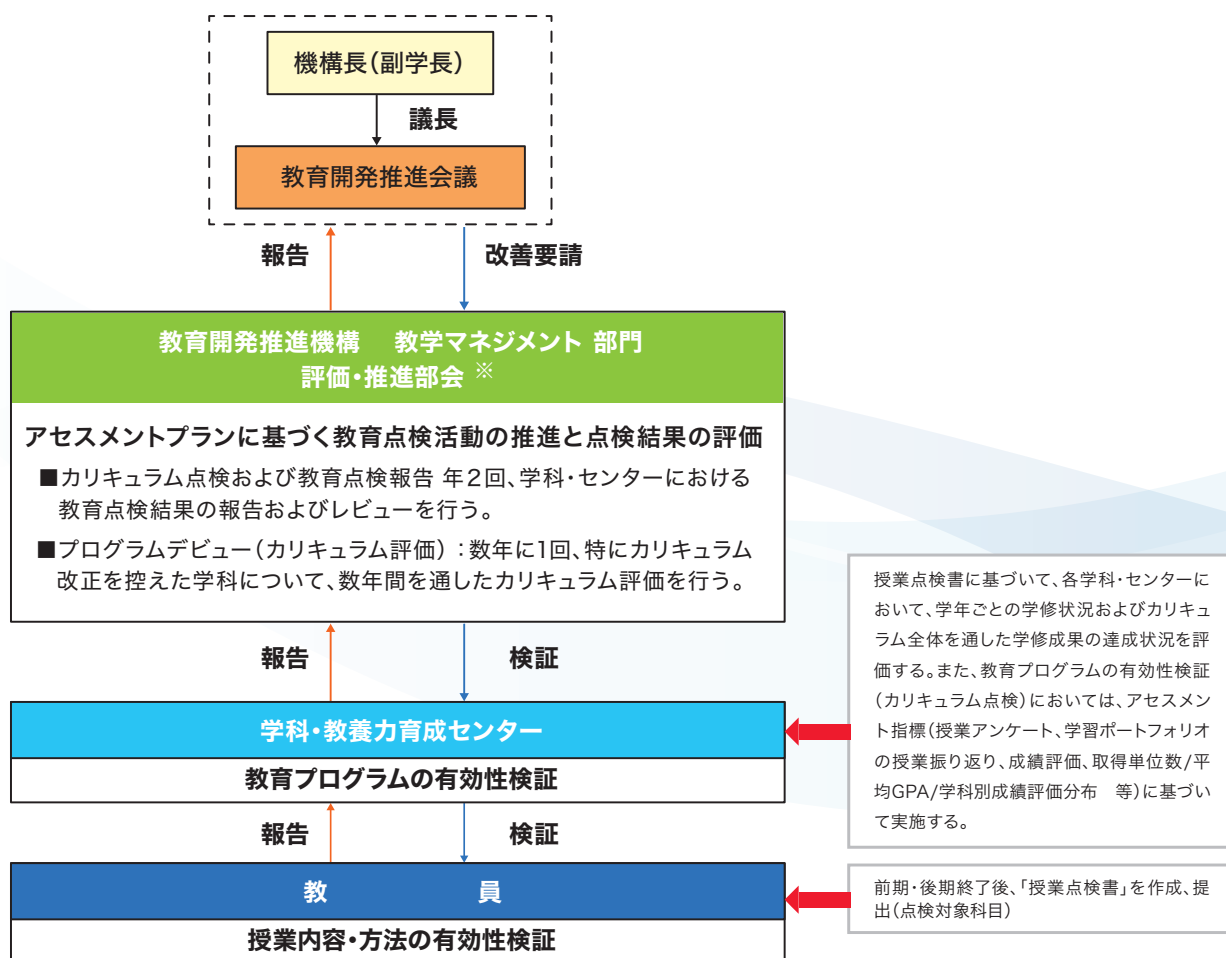
各レベルにおける評価・改善の方針はこちら

リンク▶

<https://oped.fit.ac.jp/effort/check.html>



授業科目レベル・カリキュラムレベル・全学レベルのアセスメントの流れ

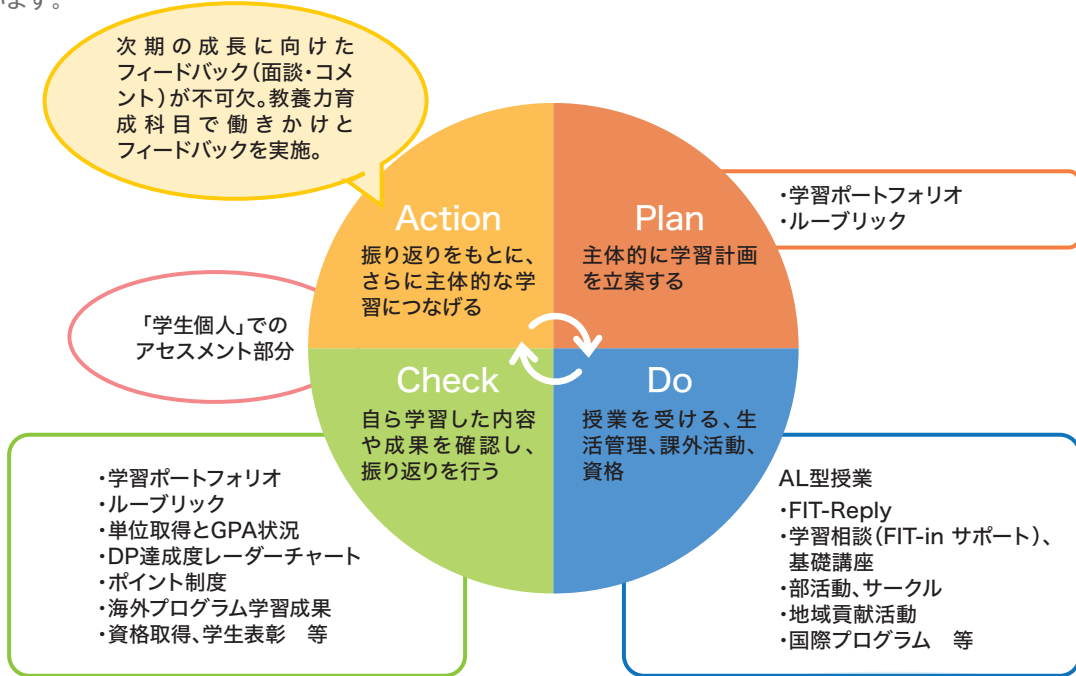


※【評価・推進部会 構成員】

部門長、各学部長、教養力育成センター長、研究科長、教学マネジメント委員、部門員、特任教員

学生レベルのアセスメント

本学のアセスメントプランにおいては、学生レベルのアセスメントが位置付けられており、教養力育成センターを起点に、FIT-AIM(学習ポートフォリオ)を活用した目標設定と振り返り支援、外部アセスメント受験と結果のフィードバックなどの取組を行っています。



リンク▶

<https://oped.fit.ac.jp/undergraduate/portfolio.html>



教学IR

本学は、「学修者本位の教育の高度化」を最重要課題とする第9次マスタープラン(2022~2026年度)に沿って、個別最適な学びを実現する「学修者本位の教育」の推進および、教育改革を推進するための「全学的なマネジメント」改革に取り組んでいます。この中で、教学マネジメント部門では、教育・学修に関するデータを収集・分析し(教学IR)、学修成果の可視化を行うとともに、教学IRを推進・活用しながら、全学的な教育システムを企画・実施するなど、教学マネジメントの確立に向けた取組を行っています。

【主な実施調査・アンケート】

- 授業アンケート
- 卒業生調査
- 学生調査
- アセスメントテスト等
- 卒業生調査

■アセスメントの項目と指標

レベル	アセスメントの項目と指標	
	CPIに即した学修が進められているか	DPの修得状況
大学	<ul style="list-style-type: none"> GPA(成績推移) 成績評価分布 修得単位数 IRコンソーシアム学生調査(満足度調査学習行動調査) 退学率・休学率 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業時調査 卒業生調査 企業調査 就職率 就職先状況データ
学部・学科(カリキュラム)	<ul style="list-style-type: none"> GPA(成績推移) 成績評価分布 修得単位数 退学率・休学率 IRコンソーシアム学生調査(満足度調査・学習行動調査) 授業アンケート 資格取得者数 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業時調査 卒業生調査 企業調査 就職率 就職先状況データ DP達成度集計 主体性ルーブリック集計
授業科目	<ul style="list-style-type: none"> 成績評価分布 授業アンケート 学修履歴(ポートフォリオ) 	<ul style="list-style-type: none"> DP達成度集計 主体性ルーブリック集計
学生	<ul style="list-style-type: none"> 成績評価 学修履歴(ポートフォリオ) 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究等の成績評価 GPA 修得単位数 DP達成度集計 主体性ルーブリック評価

FD活動

本学の教育改革は教育開発推進機構(機構長:副学長)を中心に推進しています。教育開発推進機構では、教育の質保証、教育能力の開発および向上、教育プログラムの開発およびその支援の取組みを実行し、新たな教育改革・改善活動等を推進することを目的とし、FDに関する企画、開発、実施、関連情報の収集活動等を通して全学的にFD活動を推進しています。



本学が求める教員像とFD活動の方針

本学では、求める教員像を『本学の人材育成目標である「実践型人材」育成のため、熱意をもって学生の主体的学習を支援し、学生の成長を促す教育を行う、豊かな人間性を有する者』と定めています。また、FD活動の方針として、教員の資質の向上ならびに教員組織としての多様な活動全般の改善等に資するため、組織的なFD活動を実施することとしています。

本学におけるファカルティ・ディベロッパー(FDer)の定義と役割

本学におけるFDerとは、本学の各教員や組織そのものが教育活動を改善・向上させ、集合体としての組織的教育力を高めることができる環境を整備する人材を指します。FDerは本学の教育改革をリードし、その活動をもって、本学の育成すべき人材像(実践型人材)の実現に欠かせない、学生の「能動的な学習態度の涵養」と「知識の定着」に寄与します。2016年度から2023年度にかけて8名が認定を受け、学長より認定証が授与されました。



FD活動の実施内容について

教育開発推進機構が主体となり、FD研修会(FDCafé)の開催、FDerによる活動、学生FD活動(FIT-join)、新任教員FD研修会等の活動を展開しています。それらは、本学の教育改革のフレームである「質保証」・「教授方法の質的転換(アクティブラーニングの展開による知識の定着と主体性育成)」・「機能別分化(職業人育成に向けた教養教育・キャリア教育の充実)」に沿い、適宜のテーマに応じた内容で企画・実施しています。また、学外で開催されるFD関連活動についてマイクロ(授業)・ミドル(カリキュラム)・マクロ(マネジメント)レベルで受講を推奨しています

2023年度の主な取組はP7をご覧ください。

FDCafé

FDCaféでは学部学科を超えて、教職員を対象に授業実践事例の共有や学生との意見交換、教育手法について学ぶワークショップ等を開催しています。これまで開催した研修の資料はオンラインで公開しています。(学内限定)



新任教員FD研修会／節目研修

本学の教育の特色や目指す方向性について理解を深めることを目的に新任の先生方を対象とした研修を実施しています。教育に関する事例紹介やワークショップなどを通して教員間での意見交換も実施するなど、採用年次に合わせた研修を実施しています。教員間の交流の場としてご活用ください。

4月上旬	新任教員FD研修会(着任時研修)
9月上旬	新任教員フォローアップ研修(採用3年以内の教員参加を推奨)

外部セミナー

学外で開催されるFD関連のセミナーや研修会について、マイクロレベル(授業の改善)・ミドルレベル(カリキュラムの改善)・マクロレベル(組織の整備、改革、マネジメント)の種別について明示して学内メール等で案内しています。

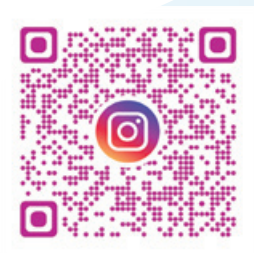
学生FD活動 FIT-join

本学における学生FD活動(団体名:「FIT-join」)は、本学の授業改善を教員・職員・学生の三位一体で改善・向上させようとする取り組み、およびそれに関わる活動です。

FIT-joinスタッフは本学の授業改善を学生の視点から教職員と一緒に考え、教職員と学生を“つなぐ”活動によって本学での「学びのコミュニティづくり」の役割を担っており、学生の本音を吸収し、学生が感じていることを教職員に伝え、また教職員が考えていることや課題を学生の視点から考え、それを学生に伝える存在として活動しています。



HPURL インスタURL 最新の情報はこちらをご覧ください
https://instagram.com/fit_join?igshid=YmMyMTA2M2Y=
 ユーザーネーム: FIT_JOIN



情報公開

教育開発推進機構オリジナルサイト

本学の教育活動を広く公開することを目的にオリジナルサイトを開設しています。また、学内教職員専用ページでは、メールや会議文書等で個別に周知・ご案内の情報を集約し、必要な時に必要な情報にすぐにアクセス頂けるページとなっています。教育開発Summary Reportのバックナンバーも掲載していますので、是非ご利用ください。URLはこちらから
<https://oped.fit.ac.jp/>



刊行物

FD Annual Report

福岡工業大学「FD Annual Report」では、本学における日常の教育実践の他、授業方法の改善全般に関わる論文および実践報告等を掲載し、学内のFD推進の意識向上を図ることを目的としています。投稿文は上記ホームページまたは福岡工業大学機関リポジトリ<https://fit.repo.nii.ac.jp/> 紀要・部局刊行物 > FD Annual Reportからご覧ください。



2023年度の主な活動

FD Café

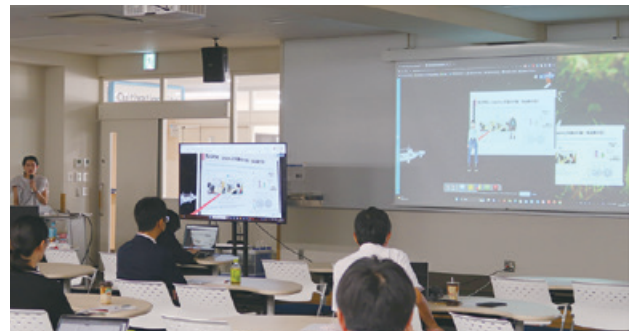
第28回FD Café 「大学教育DXの現状と今後の展望」



6月9日(金)「大学教育DXの現状と今後の展望」をテーマに第28回FD Caféを開催いたしました。今回のFD Caféは、慶應義塾大学大学院特任教授 井上雅裕先生をお招きして、「大学教育のDX」について話題提供を頂き、「対面とオンラインを複合する教育とブレンド型の国際交流」、「マイクロクレデンシャルとデジタルバッジ」のトピックスについて講演いただきました。対面とオンラインで開催し、学内および福岡未来創造プラットフォームから82名が参加しました。

FD Café

第29回FD Café 「仮想現実空間を活用した学びの革新化と教育DX推進の試み」



8月29日(火)「仮想現実空間を活用した学びの革新化と教育DX推進の試み」をテーマに第29回FD Caféを開催し、教職員53名が参加しました。今回のFD Caféは、生命環境化学科赤木紀之教授と情報システム工学科田村かおり准教授から、仮想現実空間を導入した授業実践について話題提供を頂き、参加者で意見交換を行い、発表の最後には参加者が実際に仮想空間のアバターを操作する機会を設けました。仮想空間を授業に取り入れた経緯から実際に授業に参加した学生の声、XRCC空間内でアバターとしてグループワークに参加した際の脳波計測の変化や脳波計測者の「発話」と「聴講」、「思考」に関する研究について講演頂きました。

FD Café

第30回FD Café 「生成AIの利用について～可能性と課題～」



9月14日(水)「生成AIの利用について～可能性と課題～」をテーマに第30回FD Caféを開催し、教職員30名が参加しました。今回のFD Caféは、生成AIの概要およびChatGPTの特徴について情報提供いただいた後、大学における授業、教育活動、事務業務等において、どのような場面で生成AIを使うことが考えられるか、またどのような課題があるかについて参加者で意見交換を行いました。

FDCafé

第31回FD Café 「大学で身につける力について考えよう！」



9月20日(水)「大学で身につける力について考えよう！」をテーマに第31回FDCaféを開催し、教職員および学生の計42名が参加しました。今回のFD Caféは、授業の実施者である教員と受講者である学生が本学における「大学で身につける力」に関して理解を深め、今後の本学における学修者本位の教育の推進、全学的な授業改善につなげることを目的に開催し、学生FD FIT-joinによる学生アンケートの発表、教職員および学生で「大学で身につける力」についてディスカッションを行いました。

FDCafé

第32回FD Café 「DX推進・デジタル人材育成の政策動向及び企業DX事例について」



10月31日(火)「DX推進・デジタル人材育成の政策動向及び企業DX事例について」をテーマに第32回FDCaféを開催いたしました。今回のFD Caféは、大学や学部レベルなど組織的に教育プログラムを今後展開するために必要な教育界・産業界の動向に関する情報共有、教育DXによる新たな教育の価値創造の促進を目的に開催しました。経済産業省九州経済産業局から春口浩子氏をお招きし、経済産業省におけるAIデータサイエンスの人材育成に関する政策、九州内での産業界におけるAIデータサイエンスに関する現状と課題、大学教育への提言などをお話し頂きました。対面とオンラインで開催し、学内および福岡未来創造プラットフォームから69名が参加しました。

FDCafé

第33回FD Café 「学生の主体性を育てる仕組みづくり」



12月15日(金)「学生の主体性を育てる仕組みづくり」をテーマに、第33回FD Caféを開催し、教職員および学生の計29名が参加しました。今回のFD Caféは、学生アセスメントの現状の課題や改善点、理想的な学習ポートフォリオなどについて教職員および学生で意見交換し、学生の主体的な学びを促進する学生アセスメントにつなげることを目的に開催しました。ファシリテーターの教養力育成センター土屋麻衣子教授(FDer)による自己調整学習に関するレクチャー、事務局からFIT-AIMの現状の課題等について共有があり、グループワークでは自己調整を促進するためのメニュー案、積極的に活用したくなる機能、入力しやすい仕組みなどについて学生と教職員でディスカッションを行いました。

2023年度の主な活動

新任教員FDフォローアップ研修会



9月12日(火)、「新任教員フォローアップ研修会」を開催いたしました。本研修は新任教員(主に1~2年目)を対象に、前期の教育活動の振り返りを通して、現状の課題などを共有し、本学教員としての心構えを持ち、本学での考え方を理解した上で後期の教育に取組むことができるようにすることを目的として開催するものです。11回目となる今回の研修には、教職員22名が参加しました。

教学マネジメント委員意見交換会



10月30日(月)、2023年度「教学マネジメント委員意見交換会」を開催し、教員14名・職員7名の計21名が参加しました。本意見交換会は、評価・推進部会構成員(教学マネジメント委員および教学マネジメント部門員)を対象とし、所属組織を越えて、本学に必要な教育改善について意見交換を行うことにより、課題に対する認識共有を図り、効果的なFD活動につなげることを目的として開催されたものです。昨年度各部会委員を対象に開催した「テーマ別意見交換会」に続いて開催したもので、今年度は①データで見る福工大生の姿、②学部学科横断型教育の可能性、の2つのテーマに分かれて意見交換や情報共有が行われました。

FIT-SDGsプロジェクト



3月6日(月)・7日(火)の2日間、マリントラスあしや(福岡県遠賀郡)にてFIT-SDGsプロジェクト 知識探求型学生交流プログラムの合宿を実施し、学生23名、教員4名(プロジェクトリーダー/電気工学科 田島教授、情報システム工学科 下戸准教授、社会環境学科 渡邊教授、教養力育成センター 古川教授)、職員3名、外部講師2名(九州電力株式会社 徳田様・株式会社マツヨ3企画 松尾様)が参加しました。このプロジェクトは、SDGsの課題を自分事として捉え、グループワークを通じて課題解決策を考える学部学年横断型PBLとして開催、外部講師には企画の段階から関わっていただき、水をテーマに遠賀川流域の幅広い地域課題を題材とした課題に取り組みました。

学生サポーター研修



本学では、大学院生および学部生が先輩学生として授業をサポートする活動として、TA(ティーチング・アシスタント)・SA(スチューデント・アシスタント)およびCS(クラスサポーター)による取組が行われてきましたが、2022年度より各取組を統合し、「学生授業サポート制度」として運用することにより、学生サポーターの育成と教育効果の最大化につなげています。

学生サポーターの育成のため、春季に基礎研修(全員必須、オンデマンド型)およびファシリテーション研修(CS必須、対面型/欠席者はオンデマンド型)を実施し、9月22日(金)に秋季研修「学生サポーター活動をガクチカに! 活動を通じた自己成長について考える」を実施し、学部生20名と大学院生4名の計24名が参加しました。

学部表彰



4月3日(月)、本部棟3階図書館内プレゼンテーションコートにて、2022年度学部表彰 表彰式を実施しました。ライブ配信を行い、受賞者数名がオンラインで参加しました。

「学部表彰制度」は、学部ごとに実施していた学業優秀者や資格取得者への表彰制度を統合し、2021年度から開始した制度で、今回で2年目となります。「優秀学生表彰」は主体的な学習活動を行い優秀な成績を収めた学生や、課外でのコンテスト等で成果を上げた学生を表彰します。また「資格取得表彰」は学部が推奨する資格を取得した学生を表彰します。今年度は、3学部合わせて「優秀学生表彰」は168名169件、「資格取得表彰」は200名233件が表彰されました。

アントレプレナーシップ教育



11月12日(日)PARKSアントレプレナーシップ人材育成プログラム《Edge-PRIME Initiative(小中高生向けアントレプレナーシップ教育)》の取り組みとして、本学の学生7名と西日本新聞のこども記者経験者(小中高校生)14名が本学に集まり、「新聞コミュニケーション・コンテスト」を開催しました。この取り組みは、「社会をよりよくするため自由な発想で自分らしく」をモットーに、本学学生と西日本新聞のこども記者経験者がアントレプレナーシップについて学び、考える企画で、こども記者経験者たちは「こども食堂」と「海洋ごみ」をテーマに、それぞれの取材や本学学生との意見交換に基づくプレゼンテーションを披露しました。



FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

発行元:福岡工業大学 教育開発推進機構

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 E棟3階

TEL:092-606-7370 FAX:092-606-7379

Mail:e-kaihatsu@fit.ac.jp web:http://www.fit.ac.jp/

発行日:2024年3月18日

